口腔・咽頭がん患者会　三木祥男

資料　２

**患者会へのニーズ調査報告**

１．実施状況

実施時期　平成２７年１０月２７～３０日

対象者　府立成人病センターの外来患者１３８６名　回答者９３８名（回答率６８％）

実施者　府立成人病センター相談支援センター及び口腔・咽頭がん患者会

２．入会希望者が少ないのは，患者会の存在を知らない人が多過ぎることに原因がある

　　（課題）患者会・サロンなどの周知が先決である　※癌研有明病院　入会希望率６０％

３．患者会への入会を希望している人とは，どんな人達なのか？（入会希望の強さの比較）

　　居住地による入会希望率（その居住地の人の中での希望者の比率）にはあまり差がない。

　　脳腫瘍と乳がん患者の入会希望率（同じ疾患者の中での希望者比率）が目立って高かった。

調査対象者人数　**多**

**少**

　　　治療期間が１年を超えると入会希望率が漸減する。入会希望の強さが特に強い人が１５％も居る。

４．入会希望者の入会動機

　　「がん体験者に会って情報を得たい」ということが主たる入会の動機であった。

　　 就労問題を知りたいという人は，あまり多くはない。

５．入会希望者は，どんなタイプの患者会を望んでいるのか？

　　（結論）病院が主催する疾患別・部位別の患者会が望まれている

６．入会しない理由　　　　　　　　　　　　　　７．患者会以外の関心事

　　患者会を知らないが故の誤解が多い？　　　　　　医療者からの助言を求める声が圧倒的に多い